

## 第 5 期神奈川県観光振興計画の取組状況について

## 1 取組の概要

観光を取り巻く環境の変化や動向に対応するため、令和 5 年 3 月に改定した「第 5 期神奈川県観光振興計画」（計画期間：令和 5（2023）年度～令和 8（2026）年度の 4 年間）に基づき、観光振興施策を総合的かつ計画的に推進している。

## 2 計画の目標と進捗状況

## (1) 【K G I】観光消費額総額（暦年）

単位：億円					第 5 期計画			
項目/年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
目標	11,500	12,500	13,000	13,500	10,742	11,355	11,527	11,707
実績	11,148	6,529	(注2) 9,643	(注2) 10,278	(注1)			
日本人	目標				9,341	9,384	9,428	9,472
	実績	9,297	6,267	9,643	10,278			
外国人	目標				1,401	1,971	2,099	2,235
	実績	1,851	262	(注3) -	(注3) -			

※観光庁「共通基準による観光入込客統計」のデータに基づき設定

(注1)2023年実績は、R 6 年12月頃公表予定

(注2)2021年、2022年の消費総額は、算出に必要な一部データ欠測のため参考値

(注3)2021年、2022年の外国人の消費額は、算出に必要な調査データ欠測のため算出できず

## (2) K G I 設定の参考指標（暦年）

## ア 消費単価

単位：円					第 5 期計画			
項目/年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
日本人	目標				22,760	23,220	23,690	24,160
	実績	16,520	18,850	21,830	21,430	(注1)		
外国人	目標				84,580	90,490	96,400	102,320
	実績	53,868	(注3) 66,838	(注2) -	(注2) -	(注4) 49,031		

※観光庁「旅行・観光消費動向調査」及び「訪日外国人消費動向調査」のデータに基づき設定

(注1)2023年日本人実績はR 6 年 8 月下旬頃公表される予定

(注2)外国人消費単価の2021年、2022年実績は、算出に必要な調査データ欠測のため未公表

(注3)外国人消費単価の2020年実績は、1月～3月の調査結果を用いて年間値を試算したもの

(注4)外国人消費単価の2023年実績は、4月～12月の調査データを集計したもの

## イ 入込観光客数

単位：万人					第5期計画			
項目/年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
目標	20,400	20,800	21,000	21,200	20,378	20,700	20,857	21,023
実績	20,467	10,849	11,725	<u>16,406</u>	<u>19,111</u>			

※神奈川県「入込観光客調査」のデータに基づき設定

## ウ 延べ宿泊者数 日本人

単位：万人泊					第5期計画			
項目/年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
目標	1,940	2,120	2,200	2,280	2,074	2,085	2,096	2,107
実績	2,064	1,454	1,457	<u>2,158</u>	<u>2,504</u>			

※観光庁「宿泊旅行統計調査」に基づき設定

## エ 延べ宿泊者数 外国人

単位：万人泊					第5期計画			
項目/年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
目標	260	280	300	320	238	345	366	388
実績	325	59	24	<u>51</u>	<u>323</u>			

※観光庁「宿泊旅行統計調査」に基づき設定

### 3 令和5～6年度の主な取組の実施状況

#### 基本施策1 観光データの活用

##### (1) 地域ごとの特徴を把握するための客観的データの収集・分析

かながわDMOと連携して、市町村別、観光スポット別の基礎データ等をレポートとして提供することで、市区町村や観光協会への分析支援を実施。

令和5年度：18件

令和6年度：4件 ※令和6年8月20日現在

##### (2) 7つのエリアの観光データの収集・分析

令和5年度に、7つのエリアごとに、直近1年間の人流の多い観光資源のランキングを作成し、各観光資源来訪者の性年代別の割合を分析し、ターゲットとする観光客に人気となっている場所を提示、素材選定に活用し、デジタルコンテンツ（動画）を作成した。

#### 基本施策2 観光資源の発掘・磨き上げや地域で活躍する観光人材の育成

##### (1) 魅力ある観光地域づくり

###### ア 地域と連携した観光資源の発掘・磨き上げ（神奈川県観光魅力創造協議会）

地域の特徴や意見を踏まえた観光資源の発掘・磨き上げを行い、魅力的なコースを作成する。

###### (ア) モデルコースの新規作成

新たに発掘した観光資源等を活用して、本県を訪れる観光客に向けた魅力的で多彩なコースを新規に作成する。

令和5年度：5件

令和6年度：5件以上（予定）

###### (イ) 既存モデルコースの修正

内容や行程の見直しが必要な既存のモデルコースについて、修正を行う。

令和5年度：60件

令和6年度：30件以上（予定）

##### (2) 観光消費につながるコンテンツづくり

###### ア 体験型などの高付加価値コンテンツの発掘・磨き上げ

県内の観光施設などに働きかけ、箱根や鎌倉の美術館や寺社の貸

切など通常の営業では提供していない特別感のあるプログラムの発掘・磨き上げを行い、国内外からの富裕層の取り込みを図る。

- (ア) 高付加価値コンテンツの開発  
令和5年度：5件  
令和6年度：3件（予定）
- (イ) 高付加価値コンテンツの見直し  
令和5年度：3件  
令和6年度：2件（予定）



## イ ナイトタイムエコノミー、モーニングタイム観光の推進

ナイトエンターテイメントやライトアップなどの観光コンテンツのほか、早朝座禅や朝市など夜間や早朝の時間も観光客が楽しめる観光コンテンツの発掘・磨き上げを行い、発信していくことで、本県への宿泊を促し、滞在日数の増加を促進する。

- (ア) 国内観光客向け新規コンテンツの造成  
通常では体験ができない時間帯や施設を活用した体験または宿泊を伴うコンテンツの開発。  
令和6年度：10件程度開発予定
- (イ) 国内観光客向けモデルコースの作成  
令和6年度：7エリアごとに2コース計14コース作成予定
- (ウ) 特設ウェブページ作成  
令和6年度：神奈川県公式観光サイト「観光かながわNOW」上に作成予定
- (エ) 訪日外国人向け情報発信  
令和5年度：57件  
令和6年度：21件（予定）

## ウ MICEを呼び込むユニークベニユーの推進

消費単価の高いMICEを誘致するため、県内のユニークベニユー施設の発掘・磨き上げやプロモーションを行う。

- (ア) MICE連絡会の開催  
県内ユニークベニユー同士の情報共有及び勉強会を開催。  
令和5年度：1回（38名参加）  
令和6年度：1回（予定）
- (イ) ユニークベニユー体験会の実施  
PCO※を対象とした県内MICE施設等に係るモニターツアーを実施。 ※ 会議企画運営会社。会議主催者に対し、開催地・開催場所等の提案も行う。

令和5年度：4回（60名参加）

令和6年度：4回（予定）

(ウ) ユニークベニュープロモーション動画の作成

PCO等に対して県内MICE施設の活用イメージや魅力を伝えるプロモーション動画を作成。

令和5年度：1本（英語版・日本語版）

(3) 地域で活躍する観光人材の育成やホスピタリティの向上

ア 地域で活躍するホスピタリティ人材の育成

- (ア) 県内各地で活動している観光ボランティアガイド等のネットワーク組織である「かながわガイド協議会」を通じて、観光案内の重要な担い手である観光ボランティアの人材育成への支援を行うことで、ホスピタリティの底上げを図る。

観光ボランティア向け研修の実施

令和5年度：1回（参加人数：17団体140名）

令和6年度：4回（予定）

(イ) かながわ認定観光案内人

自然や歴史、食、文化などの観光コンテンツに高い専門性を有する通訳ガイドを育成し、「かながわ認定観光案内人（Official Kanagawa Tour Guide）」として認定する。

令和5年度：17名

令和6年度：20名（予定）



イ 大学との連携による人材発掘・人材育成

- (ア) 県内自治体への学生受け入れ事業（かながわ観光行政インターンシップ事業）を実施。

令和5年度：計4名（2市各1名、県観光課2名）

令和6年度：計4名（市1名、県及び市観光協会各1名、  
県観光課1名）※令和6年7月19日現在

(イ) ツーリズムEXPOジャパン2024への出展

協議会初の大学合同事業として出展を決定。

※令和6年9月26日～29日 東京ビックサイト

- (ウ) 県インスタグラム「Tokyo Day Trip:Kanagawa」に投稿  
令和5年度：令和5年8月～令和6年3月  
※構成員の大学生（5大学持ち回り）で投稿  
令和6年度：令和6年9月頃  
※構成員の大学生（2大学共同）で投稿予定

(4) 観光資源の発掘・磨き上げ等を行うための県内の観光関連事業者や市町村等の連携促進

ア 県内の観光関連事業者や市町村等の連携促進の場づくり

- (ア) 県内の観光関連事業者や市町村等の連携推進のための神奈川県観光魅力創造協議会ネットワーク会議を開催。

令和5年度：第1回 令和5年10月26日 オンライン開催

「観光データからわかる神奈川県状況2023」

第2回 令和6年2月5日 オンライン開催

「訪日ムスリム観光客の受入～ムスリムフレンドリーな取組～」

令和6年度：2回（予定）

- (イ) 県内観光コンテンツの旅行商品造成及び観光客誘致に向け、旅行会社等を招聘する現地視察（モニターツアー）や旅行会社等と県内観光事業者等との商談会を実施。

a モニターツアーの実施

令和5年度：6回

令和6年度：5回（予定）

b 観光商談会の実施

令和5年度：2回

令和6年度：2回（予定）



基本施策3 観光客の受入環境整備

(1) 国内外観光客の受入環境整備

ア 観光関連施設の利便性の向上

民間事業者が行う無料Wi-Fi、多言語表記、トイレの洋式化等に係る整備への補助を行い、県内観光施設の受入環境整備を促進する。

交付決定件数

令和5年度：48事業者77件

令和6年度：申請件数30件 ※令和6年8月22日現在



## (2) ユニバーサルツーリズム促進のための環境整備

### ア 観光バリアフリーに関する情報の発信

ホームページやパンフレットなどを通じて、観光施設等のバリアフリー対応状況を発信するなど、ユニバーサルツーリズムに関する情報を広く発信する。

#### (ア) バリアフリー対応状況の発信

神奈川県公式観光サイト「観光かながわNOW」や外国語観光情報ウェブサイト「Tokyo Day Trip-Kanagawa Travel Info-」において観光施設のバリアフリー対応状況を発信。

#### (イ) バリアフリー観光モデルコースの作成

令和6年度：7コース（予定）

## (3) 観光振興に資する交通基盤等の整備

### ア 自転車等の活用による二次交通の充実

公共交通機関等と連携し、観光客の利便性を高める二次交通の手段としてシェアサイクルを活用した交通ネットワークの構築を進めるとともに、地域の交通事情や安全性を踏まえつつ、地域の観光資源の魅力を活用した観光ルートを設定し、県内を訪れる観光客の周遊観光を促進する。

#### (ア) 湘南地域シェアサイクル広域周遊観光実証実験事業

県と湘南地域4市3町（平塚市、鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町、大磯町、二宮町）等が連携し、シェアサイクルを活用した周遊観光の促進を図る実証実験を実施。

（設置実績(令和6年5月現在)：ステーション数288か所、ラック数1,743)



## (4) 観光客の安全・安心の確保（観光危機管理への対応）

### ア 安全・安心に係る情報の提供

観光ホームページや観光案内所、災害時プッシュ型情報アプリなどを通じて、自然災害や事故に関する情報を正確かつ迅速に提供する。

#### (ア) 県公式観光情報サイトでの情報発信

神奈川県公式観光サイト「観光かながわNOW」と外国語観光情報ウェブサイト「Tokyo Day Trip-Kanagawa Travel Info-」に神奈川県災害情報ポータルを掲載。

## イ 安全・安心確保に係る体制の整備

- (ア) 神奈川県観光振興対策協議会において危機管理研修会を実施。  
(令和6年6月6日)

## 基本施策4 地域の特徴や意見を踏まえた国内外への戦略的プロモーション

### (1) 県内来訪を促す多様なテーマに沿ったツーリズム

#### ア フードツーリズムの促進

三崎のまぐろ、湘南しらすなど、その地域ならではの食材やグルメなどの食に加え、県内の酒蔵などを観光に活用し、地域活性化を図るフードツーリズムを促進する。

- (ア) 食をテーマとした現地での観光キャンペーン

県内で味わうことができ、地域にゆかりのある「神奈川の食」をテーマとした現地での観光キャンペーンを実施予定。

(令和6年10月～予定)

#### イ サステナブルをテーマとしたツーリズムの促進

観光地の本来の姿を持続的に保つことができるよう、観光地の開発やサービスのあり方を見定め、旅行の設定を行う「持続可能な観光」への関心が世界的に高まるなか、本県が世界の旅行者から選ばれる観光地となるよう、SDGsの視点を取り入れたコンテンツの発掘・磨き上げやプロモーションを実施する。

- (ア) ファムツアーの実施

令和5年度：1回（3社3名招請）

令和6年度：1回（予定）

- (イ) 情報発信（記事作成）

令和5年度：2本

令和6年度：1本（予定）

### (2) 観光関連事業者や他自治体等と連携したプロモーションの推進

#### ア 観光の核づくり

観光の核づくり地域（城ヶ島・三崎、大山、大磯の3地域）が実施する民間事業者と連携した主体的かつ効果的な取組等の成果を分析し、県内他地域へ効果を波及させるため、令和6年度から新たに「かながわ観光連携エリア推進事業」を実施する。

- (ア) 観光の核づくり推進費補助

観光の核づくり地域（城ヶ島・三崎、大山、大磯の3地域）が実施する民間事業者と連携した主体的かつ効果的な取



組等への補助を実施。（令和5年度補助額：25,045千円）

(イ) かながわ観光連携エリア推進事業

観光の核づくり地域を拠点とした更なる地域の活性化を図るため、観光の核づくり地域の最適な連携先選定に向けてヒアリング調査を行うとともに、連携先選定後の観光戦略の策定支援を行う。（令和6年度）

イ 市町村・観光協会等との共同プロモーションの実施

県、県観光協会、市町村、市町村観光協会、民間事業者等で構成する「神奈川共同観光プロモーション実行委員会」において、高速道路サービスエリア等でプロモーションを実施する。

令和5年度：・観光ガイドブック「KURUPPU」の作成及びサービスエリア等での配架

・大磯まつりでの観光PR

令和6年度：・観光ガイドブック「KURUPPU」の作成及びサービスエリア等での配架

・観光PR動画を活用した誘客プロモーション



ウ 関東域内自治体等と連携した広域プロモーションの実施

関東広域DMO（関東域内の自治体（1都10県）等）と連携し、関東エリアの観光地の一体的なプロモーションを実施する。

(ア) デジタルプロモーション事業

1都10県（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、新潟県、山梨県、長野県）、JR東日本、関東広域DMOが連携し、サステナブルツーリズムに訴求する関東広域内のコンテンツについて、SNSを活用して発信。（対象：アメリカ、イギリス、オーストラリア）

令和5年度：18件

令和6年度：18件（予定）

(イ) 滞在コンテンツ造成事業

1都2県（東京都、神奈川県、長野県）、関東広域DMOが連携し、欧州の富裕層を対象とする旅行商品の造成を実施。（対象：フランス、ドイツ）

令和5年度：8件

令和6年度：5件（予定）

### (3) 観光消費を高めるプロモーションの推進

#### ア 国内外の富裕層に向けたプロモーションの実施

富裕層をターゲットとして、旅行代理店等と連携し、ラグジュアリーな体験など付加価値の高い、富裕層の趣向に合致した観光コンテンツのプロモーションを推進。

##### (ア) ファムツアーの実施

令和5年度：1回（4社4名招請）

令和6年度：1回

### (4) 国内向けプロモーションの推進

#### ア ターゲット層に応じた戦略的プロモーションの実施

特に東京都、県内から訪れる観光客等様々なターゲットに対し、データに基づいた戦略的なプロモーションを展開する。

##### (ア) デジタルプロモーション

令和5年度：7エリア及び全県版の  
観光プロモーション動画を作成

令和6年度：上記動画のYouTube広告等を実施し誘客を図る



##### (イ) テーマ別プロモーション

旅行者の興味・関心の高い「歴史・文化」「食」「温泉」「宿泊」というテーマを選定し、それぞれのテーマに応じたターゲットへのプロモーションを実施する。

令和5年度：GO!かながわ東海道

9つの宿場まちなめぐりデジタルラリーの実施

令和6年度：歴史をテーマとしたARデジタルラリーの実施

食をテーマとした現地での観光キャンペーン

温泉パンフレットの作成

OTAを活用した宿泊プロモーション



### (5) 外国人観光客の誘致を図るプロモーションの推進

#### ア ターゲットの設定による戦略的なプロモーションの推進

本県がターゲットに設定している中国、アメリカ、イギリス、ベトナム、台湾等の国・地域に対し、データに基づいた戦略的なプロ

モーションを推進する。

(ア) 観光レップにおける旅行会社等へのセールス

- ・ アメリカ  
令和5年度：40件  
令和6年度：30件（予定）
- ・ イギリス  
令和5年度：54件  
令和6年度：30件（予定）
- ・ 中国  
令和5年度：48件  
令和6年度：36件（予定）
- ・ ベトナム  
令和5年度：31件  
令和6年度：30件（予定）



(イ) ファムツアーの実施

- 令和5年度：3回
- 令和6年度：4回（予定）

(ウ) 台湾を対象としたプロモーションの実施

令和5年度：MICEオンライン商談会の実施

JNTOインセンティブ旅行商談会への参加

令和6年度：インセンティブ旅行を扱う旅行会社を対象としたファムツアーの実施

## イ 海外向け広報の実施

海外の現地メディア、インフルエンサー、SNS、レップ等を活用した情報発信により、本県の認知度及び来県意欲の向上を図る。

(ア) Facebook(英語、中国語(繁体字)、ベトナム語)及びWeibo(中国語(簡体字))を運営し、本県の観光地の魅力やイベント情報を発信。

(イ) インフルエンサーを活用した情報発信

- 令和5年度：11回
- 令和6年度：7回（予定）

## (6) 多様なデジタルツール等を活用した情報発信

### ア ホームページやSNSによる観光情報の発信

観光客が必要な観光情報を簡便かつ手軽に入手できるよう、神奈川県公式観光サイト「観光かながわNOW」と外国語観光情報ウェブサイト「Tokyo Day Trip-Kanagawa Travel Info-」などのホーム

ページやSNSを活用し、観光客の多様なニーズにあわせて整理した情報をタイムリーに発信する。

(ア) 「観光かながわNOW」の運用

令和5年度：リニューアル実施 3,556,255PV

(イ) 「Tokyo Day Trip-Kanagawa Travel Info-」の運用

令和5年度：1,912,643PV

## 基本施策5 観光関連産業の成長促進

### (1) 地域の産品を活用した情報発信

#### ア アンテナショップを拠点とした情報発信

本県のアンテナショップ「かながわ屋」で、県産品の情報発信や消費者ニーズを把握することにより、県産品の発掘・磨き上げを行い県産品の振興を図る。また、多様な関係者と連携して地域の産品のプロモーション等を行い、本県の魅力を発信する。

(ア) アンテナショップ「かながわ屋」

令和5年度：来店者数 103,414人

売上実績140,190千円

(イ) 多様な関係者と連携したプロモーション

令和5年度：「Tokyo Tokyo全国物産展JAPAN SELECT2023」への出展

令和6年度：県外の物産展へ出展予定

#### イ かながわの名産100選を活用した観光振興

かながわ産品の魅力を本県への観光誘客に活用するため、2018（平成30）年度に新たに選定した「かながわの名産100選」の磨き上げと差別化を行い、効果的な販売戦略を確立し、県内外又はオンラインで開催する物産展や商談会等を通じて、プロモーションを展開する。

(ア) 展示即売会開催等

令和5年度：7回 ※県内3回、県外4回

令和6年度：6回（予定）※県内4回、県外2回

